

2009年度

科目名	総合講座 I		
担当教員	足立 匡敏		
配当	日文1	コード	14210
開期	通年	講時	月曜日4限
		単位数	4
授業テーマ	(前期)近代の詩歌を読む (後期)与謝野晶子の作品を読む		
目的と概要	<p>前期の授業では、明治時代に日本の短歌と詩がどれだけ大きく変わってゆくかについて、いくつかの作品を読みながら考えます。江戸時代から連続する面、飛躍する面を考えながら、近代の詩歌の本質とは何かについて一緒に考えてゆきたいと思います。</p> <p>後期の授業では、対象を与謝野晶子にしぼり、その作品を読んでいきます。与謝野晶子は、歌人のイメージが強いかもしれませんが、女性の自立、人間の自立についておどろくほど先進的な評論をたくさん書いています。また、『源氏物語』を現代語訳したり、子どものために童話を書いたりもしています。この授業では、様々な分野の晶子の作品を読みながら、そうした多彩な分野での活動をとらえて、晶子が何を伝えたかったのか、そして私たちは、それをどう受け止めるべきかについて考えます。</p>		
成績評価法	毎回の授業時に課す小課題(60%)、レポート(40%)。		
テキスト	講義中に配付する教材・資料等で行います。		
参考書	授業中に適宜紹介する。 夏休み中に、参考文献を読み、それについてレポートを書いてもらう課題を出す。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>1. 前期</p> <p>【第1回】ガイダンス 前期授業の目的と内容</p> <p>【第2回】江戸時代の和歌(1)</p> <p>【第3回】江戸時代の和歌(2)</p> <p>【第4回】明治初期の詩歌 ー明治30年以前(1)</p> <p>【第5回】明治初期の詩歌 ー明治30年以前(2)</p> <p>【第6回】明治初期の詩歌 ー明治30年以前(3)</p> <p>【第7回】詩歌の革新 ー明治30年前後(1)</p> <p>【第8回】詩歌の革新 ー明治30年前後(2)</p> <p>【第9回】詩歌の革新 ー明治30年前後(3)</p> <p>【第10回】詩歌の革新 ー明治30年前後(4)</p> <p>【第11回】歌集の時代 ー明治30年以降(1)</p> <p>【第12回】歌集の時代 ー明治30年以降(2)</p> <p>【第13回】歌集の時代 ー明治30年以降(3)</p> <p>【第14回】その後の詩歌</p> <p>【第15回】まとめ・復習</p> <p>※取り上げる歌人・詩人としては、正岡子規、与謝野晶子、佐佐木信綱、斎藤茂吉、島崎藤村などを予定しています。</p> <p>2. 後期</p> <p>【第16回】ガイダンス 後期授業の目的と内容</p> <p>【第17回】与謝野晶子の生涯</p> <p>【第18回】堺の町の与謝野晶子(1)</p> <p>【第19回】堺の町の与謝野晶子(2)</p> <p>【第20回】歌集『みだれ髪』の達成(1)</p> <p>【第21回】歌集『みだれ髪』の達成(2)</p> <p>【第22回】晶子の評論活動(1)</p> <p>【第23回】晶子の評論活動(2)</p> <p>【第24回】晶子の評論活動(3)</p> <p>【第25回】晶子が訳した『源氏物語』</p> <p>【第26回】与謝野晶子と教育</p> <p>【第27回】晶子と子育て、童話</p> <p>【第28回】与謝野晶子と現代社会</p> <p>【第29回】与謝野晶子のめざすもの</p> <p>【第30回】まとめ・復習</p>			